

# バイオ戦略トークセミナー

## 環境エネルギーの未来戦略

### バイオメタンの有効活用

日時

2021年10月1日（金）

14:00-16:20

会場

WEB開催（zoomを使用します）

2021年7月に設立したバイオコミュニティ関西（BioCK）は、内閣府「バイオ戦略2020」に基づき、持続可能な社会実現のため、バイオファーストの発想を広げ、国際都市型バイオコミュニティの形成を目指す活動を進めていきたいと考えています。その勉強会として、オープンセミナー第3弾、環境エネルギーの未来戦略を企画しました。皆さまのご参加をお待ちしています。

➤ ご講演① 14:05-

#### 「バイオガスのエネルギー利用とその高品質化について」

京都大学大学院 工学研究科 都市環境工学専攻 准教授 大下 和徹 氏



➤ ご講演② 14:35-

#### 「日立造船のカーボンニュートラルに向けたバイオメタン、合成メタンへの取り組み」

日立造船株式会社 環境事業本部 環境技術推進部 部長 田中 朝都 氏



➤ ご講演③ 15:05-

#### 「バイオメタンの最大化に向けて」

大阪ガス株式会社 エネルギー技術研究所 シニアリサーチャー 坪田 潤 氏



➤ トークセッション 15:40-

参加費：無料

お申込みは近畿バイオWEBサイトから

<https://kinkibio.com/>

## 「バイオガスのエネルギー利用とその高品質化について」

バイオガスとは有機性廃棄物などを基質とした嫌気性発酵により発生するメタン、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を主体としたバイオ燃料の1つであり、そのエネルギー利用は、脱炭素化社会の構築のために重要な要素である。本講演では、バイオガスの発生原理や、動向に加え、特に高品質化する方法について、その研究結果例を交えて概説する。

## 「日立造船のカーボンニュートラルに向けたバイオメタン、合成メタンへの取り組み」

1965年に日本初の本格的な廃棄物発電施設を納入して以来、廃棄物からのエネルギー回収に取り組んできた。今回はメタンガス化技術へのこれまでの取り組みとバイオメタン製造への展望、廃棄物焼却施設の排ガスから回収した二酸化炭素と水素を反応させ得られる合成メタン製造など2050年カーボンニュートラルに向けた取り組みを紹介する。

## 「バイオメタンの最大化に向けて」

2050年カーボンニュートラル達成にむけ、日本ガス協会は2030年にカーボンニュートラルメタン1%導管受け入れを目指している。水素コストが課題であるなか、廃棄物系バイオマスをもとにメタンを主成分とするバイオガスとして回収することでメタネーションに必要な水素量は6割削減できる。廃プラをバイオガス化する新技術も含め、大阪ガスの取り組みを紹介する。

## プログラム

14:00-	開会挨拶	バイオコミュニティ関西 (BiocK)	副委員長 兼 統括コーディネーター	坂田 恒昭
14:05-	ご講演①	京都大学大学院 工学研究科 都市環境工学専攻	准教授	大下 和徹 氏
14:35-	ご講演②	日立造船株式会社 環境事業本部 環境技術推進部	部長	田中 朝都 氏
15:05-	ご講演③	大阪ガス株式会社 エネルギー技術研究所	シニアリサーチャー	坪田 潤 氏
15:35-	休憩			
15:40-	トークセッション			
16:10-	閉会挨拶	バイオコミュニティ関西 (BiocK)	事務局長	高田 清文

参加費 無 料

申 込

<https://kinkibio.com/>

締 切

2021年9月30日 (木)

主 催

バイオコミュニティ関西 (BiocK)

※共同事務局：NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議／公益財団法人都市活力研究所

お問合せ：NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議 担当：高田清文・大嶋真由子

〒541-0048 大阪市中央区瓦町4丁目8番4号 井門瓦町第2ビル3F

TEL：06-4963-2107 FAX：06-4963-2127

E-mail：moshima@kinkibio.com